

生涯録
9月修研

混合歯列期における早期矯正治療の適応条件と実際

小森 成 (日本歯科大学付属病院矯正歯科教授)

叢生や上顎前突のような咬合異常は珍しくはないが、最近では正常咬合が稀な存在となりつつある。必然的に多くの親から矯正歯科治療の適応と開始時期について問われる。早期に矯正治療を始めれば簡単に治るのか? 「早期に始めれば、永久歯列期の本格矯正治療をしなくて済むのか?」 「早期に始めれば、本格矯正治療で抜歯しなくて済むのか?」。残念ながら、これらの素朴な疑問に対して明確に答えられるだけのエビデンスは構築されていない。各々の

医療施設で独自の価値観や治療判断に基づいて対応しているのが現実と思われる。しかし患者の立場からすると施設ごとに見解が異なるというのは困ったことで、セカンドオピニオンで解決することは限らない。

欧米において、上顎前突に対するランダム化比較試験による早期矯正治療の評価が報告されている。その結果、早期治療によりオーバージェット

の減少や臼歯関係の改善等が認められるものの、多くは永久歯列期の本格矯正治療が必要で、しかも便宜抜歯を必ずしも回避できない。あえて混合歯列

期では治療せずに永久歯列期になってから治療する方が、患者の負担や治療効果の点から有効なことも多い。

しかし、交叉咬合、先天性欠損や埋伏歯については比較的早期に治療することにより、将来の治療が簡易化できると同時に、さらなる咬合異常を防ぐという面から患児の利益は極めて高い。そこで本講演では早期矯正治療に対するコンセンサスを紹介すると同時に、混合歯列期に矯正治療を行うことが推奨される条件と具体的対応について述べる。

口腔外科症例の注意事項を紹介

北大阪地区

北大阪地区は7月9日、豊中市内で講習会

「診療で遭遇する口腔外科症例」判断に迷ったら「を聞いた。山本直典氏(済生会千里病院口腔外科副部長)が講演し、37人が参加した。

一般開業医における治療上の注意事項について、埋伏歯抜歯やドライソケット、上顎洞穿孔などの症例を示しながら詳細に説明。粘膜疾患では、白板症の癌化率17.5%あり、生検で確定診断後に外科的治療を施す必要がある。腫瘍、良性腫瘍、エナメル上皮腫、歯牙腫、悪性腫瘍、悪性リンパ腫、悪性黒色腫など、悪性である場合は大学病院に紹介することを薦めた。熱心な話に活発な質問が相次いだ。(箕面市・久保隆夫)



治療上の注意点について説明する山本氏(7月9日、豊中市)



週刊ポストややってはいかない歯科治療

「週刊ポスト」7月22日、29日合併号では、「やってはいけない歯科治療第3弾・歯医者者の値段の力ラクリ」として、保険診療と自費診療の歪みを集めた。8月5日号では「同企画第4弾・歯の治療履歴を見直せ」として、銀歯やブリッジ、インプラントがう蝕や不整脈、皮膚病を引き起こしたケースを紹介している。同企画は、歯科の低診療報酬について指摘をしながらも、一貫して歯科医は儲け主義だという論調で報じている。

食育に目覚めた頃のこと

水井 雅則 (平野区)



私が近年、力を入れて学んでいることに食育がある。以前から食へることに興味があった。思い返せば、2005年頃にNHKで放映されていた、韓流大河ドラマのほ

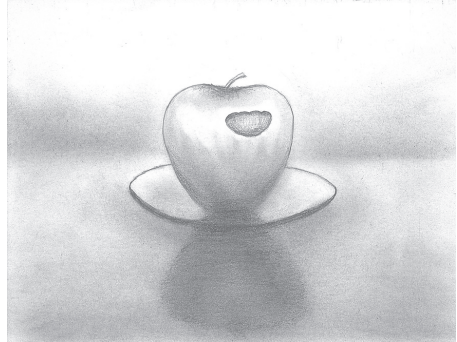
しりとも言う「宮廷女官・チャンゲムの誓い」をよく観ていた。また同じ頃、小学館文庫の和田はつ子さん作「口中医桂助」シリーズも愛読していた。そんなこんなで食

べ物と身体の関係に興味が増していった時期であった。折しも08年の第21回日本歯科医学総会(横浜)で、何と一作者の和田はつ子氏が特別講演される



よと教えてもらった。それが「おむすびの会」であった。

この会は医師(産婦人科など)、歯科医師以外に栄養士、教諭、野菜ソムリエなど多職種が「食」



絵 藤田 進 (河内長野市)

をキーワードに集まって情報交換し、考える会である。「食」を通して子育ての楽しさ、難しさ

を教えてもらい、提唱者の竹下和男先生の講演を何度も聴き、お手伝いもさせてもらって全国に知

本大震災とそれに関連する福島原発事故が起ころ「食」が脅かされる問題が頻発した。

例会で、映画にもなった「はなちゃん」

り合いの輪が広がった。それ以外にも今井一彰先生の「あいうべ体操」で鼻呼吸の大切さを学び、自ら実践してその効果に驚き、学校保健現場や介護予防講座で普及活動に努めている。

食への興味をきっかけに様々な人との出会いがあり、大きく人生に影響を受けたと言っても過言ではない。それ程「食育」とは凄いなのである。

水井先生ありがとうございました。次回10月15日付は、平野区開業、篠田豊先生です。

協会行事案内

電話 06-6568-7731
お申し込みは ファクス 06-6568-0564

サマーセミナー

- 日時 8月21日(日) 午前10時30分～午後3時
- 会場 M&Dホール 会費 無料
- 午前の部 午前10時～午後0時15分
- テーマ 「社会保障財源に消費税は必要か」
- 講師 鶴田廣巳氏(関西大学教授)
- 午後の部 午後1時～3時
- テーマ 「本当の医療崩壊はこれからやってくる」
- 講師 本田宏氏(外科医)
- ※午前・午後通しで参加の場合は昼食(弁当)をご用意します。必ず、事前にお申し込みください。

三島地区講習会

- 臨床に活かすカリオロジー
- 日時 8月27日(土) 午後7時～9時
- 会場 高槻市生涯学習センター3階「研修室」(JR高槻駅・阪急高槻市駅徒歩8分)
- 講師 伊藤中氏(茨木市開業、大阪大学歯学部臨床准教授)
- 定員 50人
- 会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円

医療機関への税務調査で気をつけることー税務調査の本格化を前に

- 日時 8月27日(土) 午後3時～5時
- 会場 保険医会館5階 定員 50人
- 講師 疋田英司氏(協会税理士団・税理士)
- 会費 会員・家族無料、未入会者1万円

8月度生涯研修

- デンチャースペース義歯の実際ー顎堤の痩せた高齢者に安定した義歯を
- 日時 8月28日(日) 午前10時～午後1時
- 会場 M&Dホール 定員 100人
- 講師 加藤武彦氏(横浜市開業)
- 会費 会員3千円、未入会者1万円

社保講習会

- 第1回 9月3日(土) 午後6時～8時
- 内容 初・再診料、医学管理、在宅
- 第2回 9月10日(土) 午後6時～8時
- 内容 検査・画像診断・投薬・麻酔、処置、手術
- 第3回 9月17日(土) 午後6時～8時
- 内容 歯周疾患、歯冠修復・ブリッジ、有床義歯
- 会場 M&Dホール 定員 100人
- 講師 社保研究部講師団 会費 会員無料
- ※「歯科保険診療の研究(2016年4月版)」をテキストとします。ご持参ください。

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です。協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。